

2021 年度(令和 3 年度)
「福山市立大学における
学生の学習成果に関するアンケート調査」
報告書

2022 年(令和 4 年)2 月 9 日

福山市立大学キャリアデザインセンター運営委員会

目次

福山市立大学における学生の学習成果に関するアンケート調査の概要.....	1
I 卒業生に対する調査.....	2
教育学部	2
都市経営学部	13
II 就職先に対する調査.....	23
教育学部	23
都市経営学部	27
III 考察	32
参考資料「アンケートフォーマット」.....	35

福山市立大学における学生の学習成果に関するアンケート調査の概要

○調査の目的

本学を卒業した学生の資質・能力が、社会の要請に見合ったものとなっているかどうかについて検証すると共に、本学に対する要望を把握し、本学の教育活動の改善・向上に活かしていくことを目的とする。

○調査の対象

- (1) 卒業生：本学卒業後4年目の卒業生（2017年度卒業生：4期生）246人
- (2) 就職先：4期生の就職先（卒業時に学生から報告があった就職先）237機関

○調査の方法

- (1) 卒業生：調査依頼文を在学中の保証人住所に郵送する。アンケート様式はMicrosoft formsで作成し、そのURL及びQRコードを調査依頼文に記載、Webで回答してもらう。
- (2) 就職先：調査依頼文を就職先住所に郵送する。アンケート様式はMicrosoft formsで作成し、そのURL及びQRコードを調査依頼文に記載、Webで回答してもらう。

○調査実施期間

- (1) 卒業生に対する調査：2021年（令和3年）8月11日（水）～9月22日（水）
- (2) 就職先に対する調査：2021年（令和3年）9月10日（金）～10月15日（金）

○調査の回答率

	調査対象	回答
卒業生本人に対する調査	246人	65人（26.4%）
就職先に対する調査	237機関	103機関（43.5%）

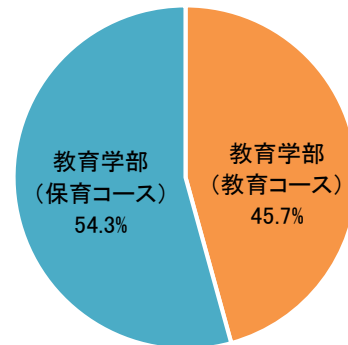
※本報告書記載の割合については小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

I 卒業生に対する調査（教育学部）

問1 あなた自身についてお尋ねします。

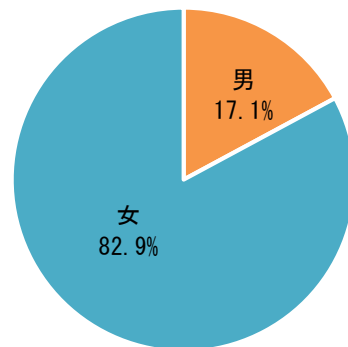
(1) 出身学部・コースを選択してください。

学部	人数	割合
教育学部 (教育コース)	16人	45.7%
教育学部 (保育コース)	19人	54.3%
合計	35人	100%



(2) あなたの性別をお答えください。(任意)

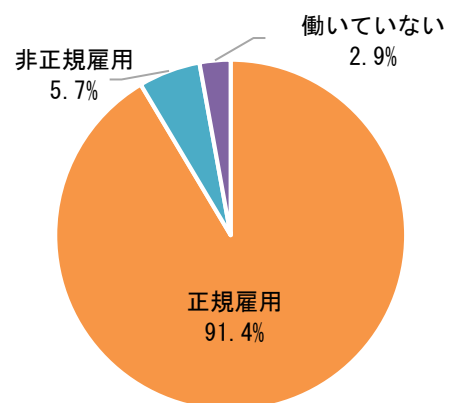
性別	人数	割合
男	6人	17.1%
女	29人	82.9%
合計	35人	100%



問2 現在の勤務先についてお尋ねします。

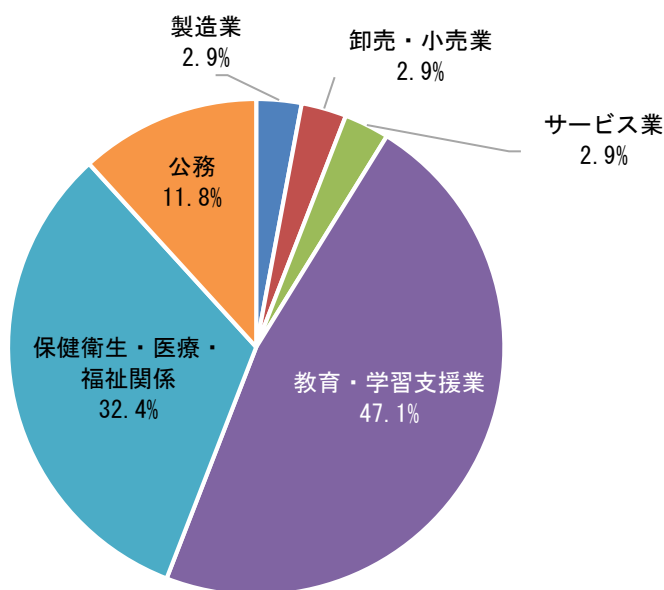
(1) 勤務先での雇用形態についてお答えください。

雇用形態	人数	割合
正規雇用	32人	91.4%
非正規雇用 (派遣, パート, アルバイト 含む)	2人	5.7%
現在は働いていない	1人	2.9%
合計	35人	100%



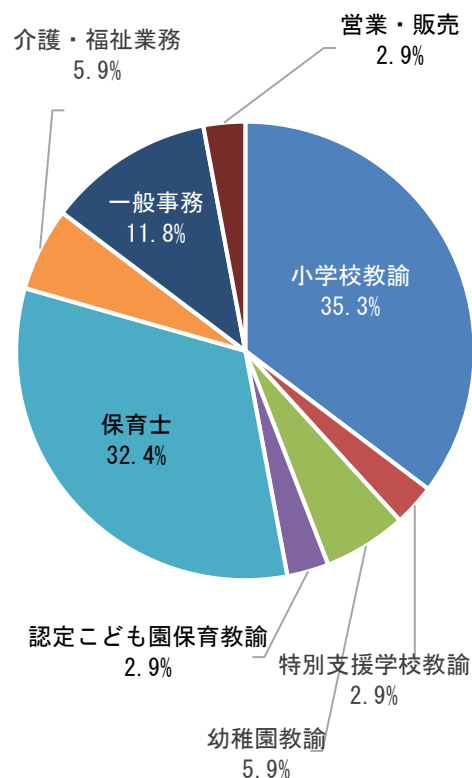
(2) (現在働いている人のみ) 現在の勤務先の業種をお答えください。

業種	人数	割合
農林水産業	0人	
建設業	0人	
製造業 (食品, 印刷, 化学, 鉄鋼, 電子部品等)	1人	2.9%
電気・ガス・水道業	0人	
情報通信業	0人	
運輸・郵便業	0人	
卸売・小売業	1人	2.9%
金融・保険業	0人	
不動産業	0人	
サービス業	1人	2.9%
教育・学習支援業 (小学校, 特別支援学校, 幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 学習塾等)	16人	47.1%
保健衛生・医療・福祉関係 (保育所, 福祉施設等)	11人	32.4%
公務 (国・地方自治体)	4人	11.8%
その他	0人	
合計	34人	100%



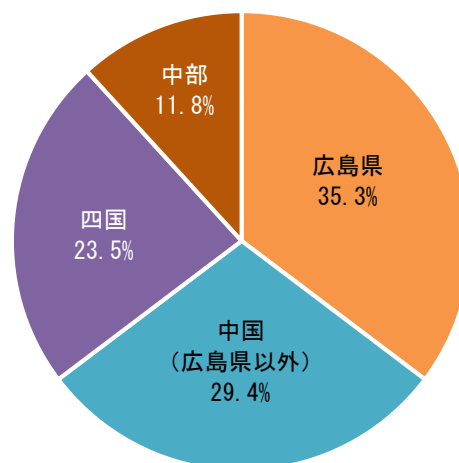
(3) (現在働いている人のみ) 現在のあなたの職種をお答えください。

職種	人数	割合
小学校教諭	12 人	35.3%
特別支援学校教諭	1 人	2.9%
幼稚園教諭	2 人	5.9%
認定こども園保育教諭	1 人	2.9%
保育士	11 人	32.4%
介護・福祉業務	2 人	5.9%
一般事務 (一般行政事務等含む)	4 人	11.8%
営業・販売	1 人	2.9%
情報処理・通信技術	0 人	
建築・土木技術	0 人	
保安職業 (警察官, 消防士, 警備員等)	0 人	
その他	0 人	
合計	34 人	100%



(4) (現在働いている人のみ) 勤務地についてお答えください。

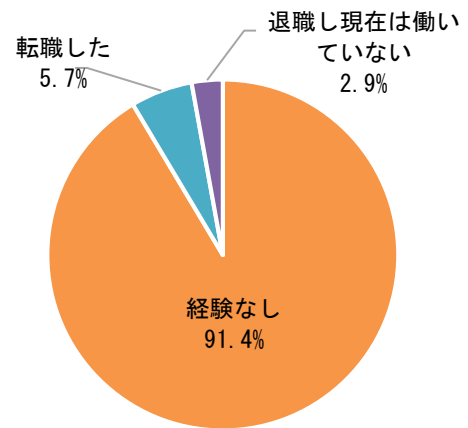
勤務地	人数	割合
広島県 (福山市 6, 福山市以外 6)	12 人	35.3%
中国(広島県以外) (岡山 6, 島根 3, 山口 1)	10 人	29.4%
四国 (香川 4, 愛媛 3, 高知 1)	8 人	23.5%
中部 (石川 1, 岐阜 1, 静岡 1, 愛知 1)	4 人	11.8%
合計	34 人	100%



問3 転職や退職についてお尋ねします。

(1) 転職等の経験についてお答えください。

転職等の経験	人数	割合
経験なし	32人	91.4%
転職した	2人	5.7%
退職し現在は働いていない	1人	2.9%
合計	35人	100%



(2) (転職したことがある人のみ) 転職した時期をお答えください。

2019年8月…1人

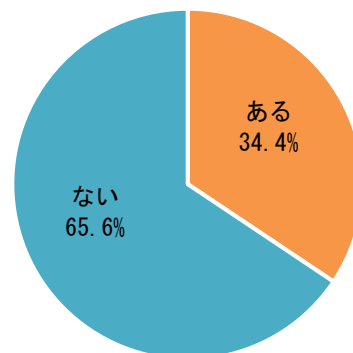
2020年4月頃…1人

(3) (退職したことがある人のみ) 退職した時期をお答えください。

2021年3月…1人

(4) (経験ない人のみ) これまでに、転職や退職を考えたことがありますか。

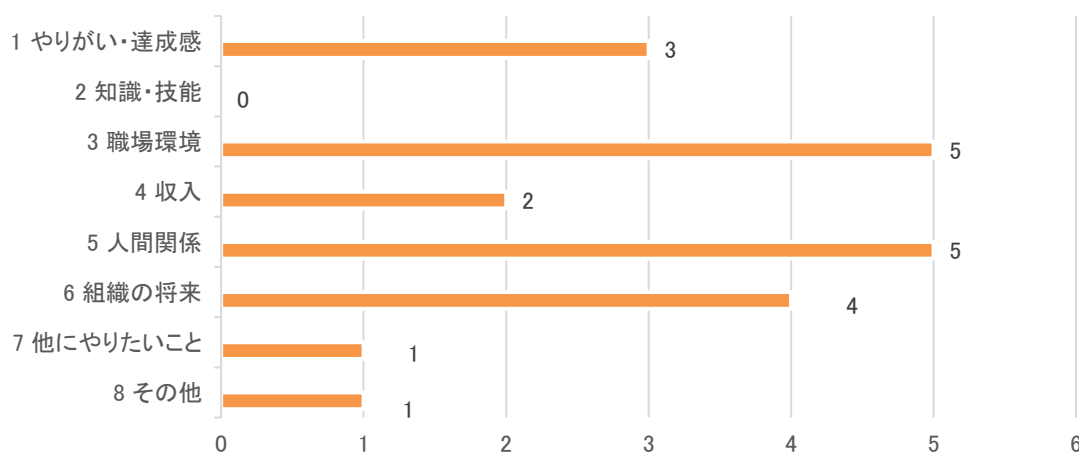
転職等の検討	人数	割合
ある	11人	34.4%
ない	21人	65.6%
合計	32人	100%



(5) ((4)で「ある」を選んだ人) 転職や退職を考えたのはどのような理由からですか。
(複数回答可)

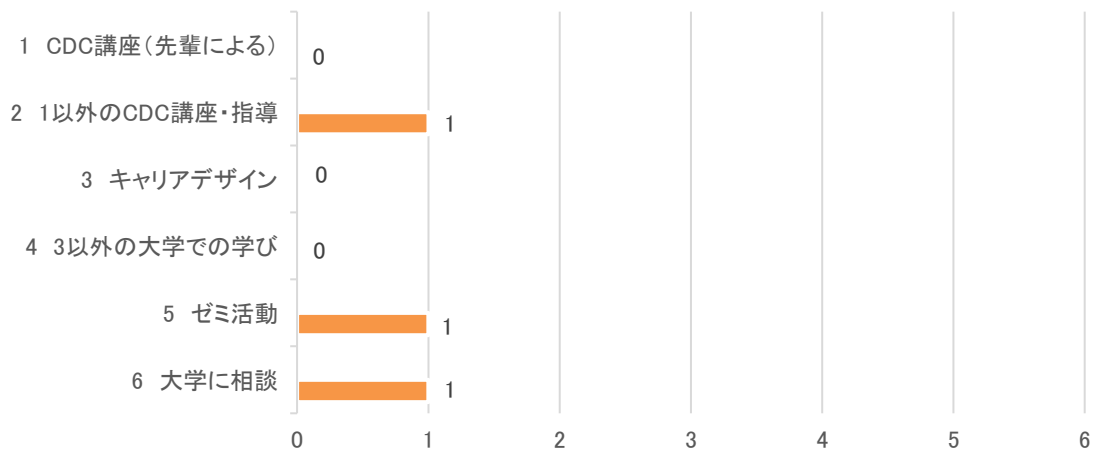
理由	人数
1 やりがいや達成感を得られなかったから	3人
2 自分が求める知識や技能が身につけられないと感じたから	0人
3 労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから	5人
4 収入に不満があったから	2人
5 職場の人間関係に悩みがあったから	5人
6 組織の将来に不安を感じたから	4人
7 他にやりたいことを見つけたから	1人
8 その他※	1人

※その他の回答 自分に向いていないと感じたから…1人



(6) ((4)で「ある」を選んだ人) 転職・退職しないことを決断したとき、大学での学びや経験等が参考となった方は教えてください。(複数回答可)

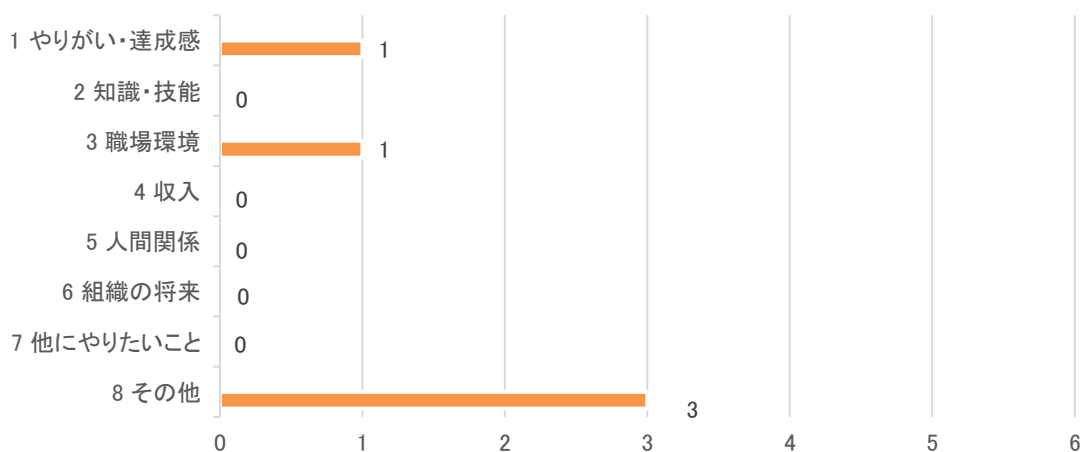
参考となったもの	人数
1 CDC での先輩方による講座(就職報告会やキャリアセミナー等)	0人
2 1 以外の CDC での講座や指導	1人
3 教養科目「キャリアデザイン」	0人
4 3 以外の大学の講義での学び	0人
5 ゼミ活動	1人
6 大学(CDC やゼミ教員)に相談して決めた	1人
7 その他	0人



(7) (転職・退職したことがある人のみ) 転職や退職を考えたのはどのような理由からですか。(複数回答可)

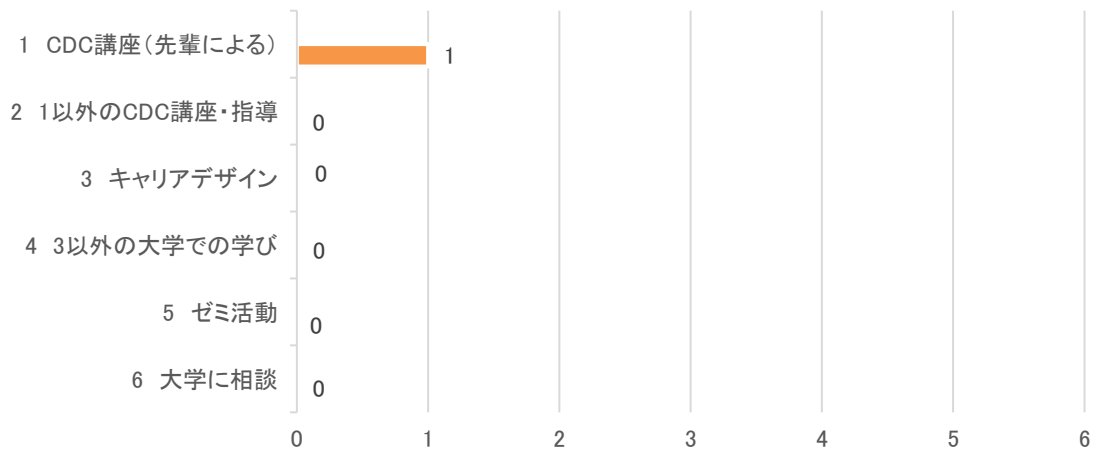
理由	人数
1 やりがいや達成感を得られなかったから	1人
2 自分が求める知識や技能が身につけられないと感じたから	0人
3 労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから	1人
4 収入に不満があったから	0人
5 職場の人間関係に悩みがあったから	0人
6 組織の将来に不安を感じたから	0人
7 他にやりたいことを見つけたから	0人
8 その他※	3人

※その他の回答 地元で働きたいと思ったから…1人
結婚による県外への引っ越し…1人
住居移転のため…1人



(8) (転職・退職したことがある人のみ) 転職・退職を決断したとき、大学での学びや経験等が参考となった方は教えてください。(複数回答可)

参考となったもの	人数
1 CDC での先輩方による講座(就職報告会やキャリアセミナー等)	1人
2 1以外のCDCでの講座や指導	0人
3 教養科目「キャリアデザイン」	0人
4 3以外の大学の講義での学び	0人
5 ゼミ活動	0人
6 大学(CDC やゼミ教員)に相談して決めた	0人
7 その他	0人



問4 卒業後の状況から判断して、在学中に身につけるべき資質・能力（学習内容・成果）についてお尋ねします。

※この設問は、社会人として必要な資質・能力について、あなたが在学中に身につけたかどうかを問うものではなく、現時点で大学時代を振り返り、在学中に身につけておくべきであったかどうかの重要度を問うものです。

	1 とても重要	2 重要	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 まったく重要でない
(1)職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢	9人 (25.7%)	21人 (60.0%)	5人 (14.3%)	0人	0人
(2)職務をまっとうする責任感や使命感	16人 (45.7%)	15人 (42.9%)	4人 (11.4%)	0人	0人
(3)表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力	26人 (74.3%)	9人 (25.7%)	0人	0人	0人
(4)チームワークで業務に取り組む能力や協調性	23人 (65.7%)	12人 (34.3%)	0人	0人	0人
(5)幅広い教養と高い知性	13人 (37.1%)	17人 (48.6%)	5人 (14.3%)	0人	0人
(6)文書作成、データ分析、ネット活用等の幅広いIT能力	9人 (25.7%)	18人 (51.4%)	7人 (20.0%)	1人 (2.9%)	0人
(7)読み、書き、話す等の外国語の運用能力	2人 (5.7%)	12人 (34.3%)	16人 (45.7%)	5人 (14.3%)	0人
(8)業務等に関連する専門分野の知識・技能	14人 (40.0%)	18人 (51.4%)	3人 (8.6%)	0人	0人
(9)自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探究力	13人 (37.1%)	20人 (57.1%)	2人 (5.7%)	0人	0人
(10)現在の生活地域への関心・興味や愛着心	5人 (14.3%)	16人 (45.7%)	12人 (34.3%)	2人 (5.7%)	0人

問5 上記の問4 (8)「業務等に関連する専門分野の知識・技能」において、あなたが重要だと感じるもののうち、在学中に身につけておくべきこと、あるいは在学中に習得に励むと良いと考えるものを3つ以内で具体的に挙げてください。

※ () に関する知識・技能 () の部分をお答えください。

教育コース

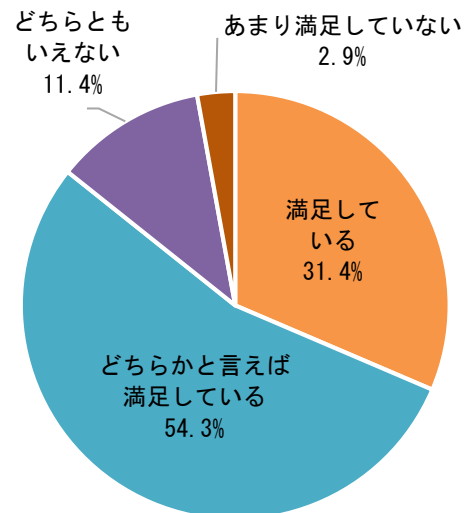
指導案作成	2人
授業づくり	2人
各教科の基礎知識	1人
各教科等の目標	1人
各教科の指導	1人
教科	1人
家庭科, 工作の技術	1人
栽培活動	1人
校務	1人
行事についてや担任以外の業務	1人
学級経営	1人
児童理解	3人
児童心理	1人
特別支援教育や障害特性	1人
発達過程(特に0歳児～就学前の発達過程について)	1人
イジメ	1人
人権・同和教育	1人
子供に教育する道德心	1人
子供に対する躰	1人
教育法規等	1人
ICT	2人
コミュニケーションや伝え方	1人
社会人としての振る舞い	1人
仕事をする事への責任	1人
自己分析	1人

保育コース

保育技術(手遊び・体操・踊り・ピアノ等)	4人
年齢に沿ったあそび	1人
音楽指導(歌・合奏・メロディオン等)	1人
音楽表現	1人
子どもの発達	3人
保育の発達	1人
年齢ごとの大まかな発達等	1人
子どもの病気や怪我	1人
子どもの保健	1人
保育	1人
福祉	1人
幼児理解	1人
支援を必要とする子への対応	2人
特別支援保育	2人
コミュニケーション	1人
対人関係	1人
簿記	1人
社会保険や年末調整	1人
現場での実践力	1人

問6 大学生生活を振り返ってみて、大学に対する総合的な満足度は次のいずれですか？

満足度	人数	割合
満足している	11人	31.4%
どちらかと言えば満足している	19人	54.3%
どちらともいえない	4人	11.4%
あまり満足していない	1人	2.9%
満足していない	0人	
合計	35人	100%



問7 卒業生の視点から福山市立大学の教育活動や人材育成等について意見・指摘等ありましたら、ぜひお聞かせください。

教育コース

- ・4期生ですが、今のところ加える事は無いと思います。大学側の先生も熱心に話を聞いてくれて、良いアドバイスをしてくれました。印象が良かったと思います。何より、大学生生活が楽しく過ごせた事と、いい友達に巡り会えた事が思い出です。
- ・先生方へ相談などをしやすい環境にあり、のびのびと楽しく生活ができた。実際に外部へ足を運ぶような活動もあり、卒業後にも生かされている。満足のいく大学生生活を送ることができた。
- ・たくさんの小学校で実地体験ができたのは、大きかったです。
- ・小学校や特別支援学校への実地体験があることで、大学生の頃からリアルな授業や児童と関わることができたので、働き始めから、児童との関わり方や授業づくりの面で役に立つ場面があり、大変有意義な時間を過ごすことができていたと感じています。
- ・社会に出る前に他の学校や学部との交流によって、自分の将来の視野を広げることがすごく大切だと思います。
- ・小学校の音楽・図工などの技能教科や総合的な学習の時間について、子どもたちを実際目の前にしてどう指導すべきか具体的に分からず、不安なまま教職に就きました。大変ですが、実際に授業を見たり計画したりする機会が大切だと気付きました。

保育コース

- ・保育園への実地体験は、すごく自分のためになりました。これからも続けてほしいです。
- ・大学の授業内で作ったエプロンシアターや手作りおもちゃや、習った手遊びは今も仕事で使ったりしています。知識も大事ですが、実技もたくさんして大学生のうちに引き出しを増やしておくことが大切だなと今になって思っています。
- ・自分の保育を反省、考察する力、またそれを他人に語る力は、実際に現場でも必要とされていると感じます。

I 卒業生に対する調査（都市経営学部）

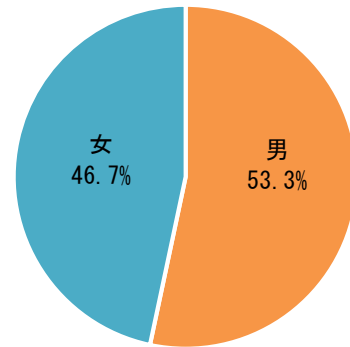
問1 あなた自身についてお尋ねします。

(1) 出身学部・コースを選択してください。

学部	人数	割合
都市経営学部	30人	100%

(2) あなたの性別をお答えください。(任意)

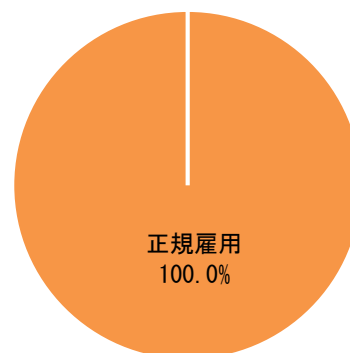
性別	人数	割合
男	16人	53.3%
女	14人	46.7%
合計	30人	100%



問2 現在の勤務先についてお尋ねします。

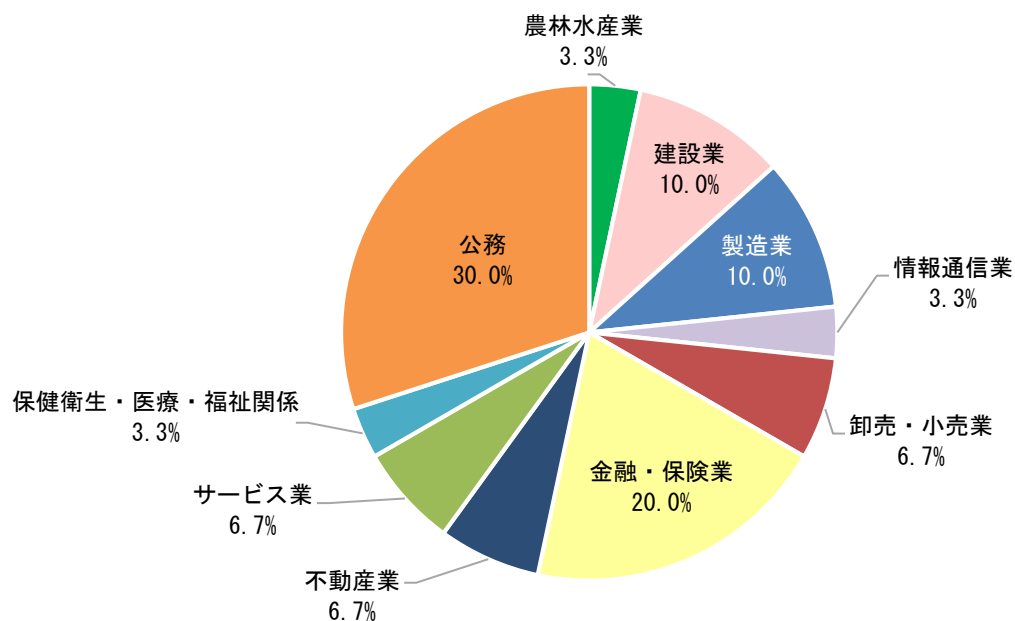
(1) 勤務先での雇用形態についてお答えください。

雇用形態	人数	割合
正規雇用	30人	100%
非正規雇用 (派遣, パート, アルバイト 含む)	0人	
現在は働いていない	0人	
合計	30人	100%



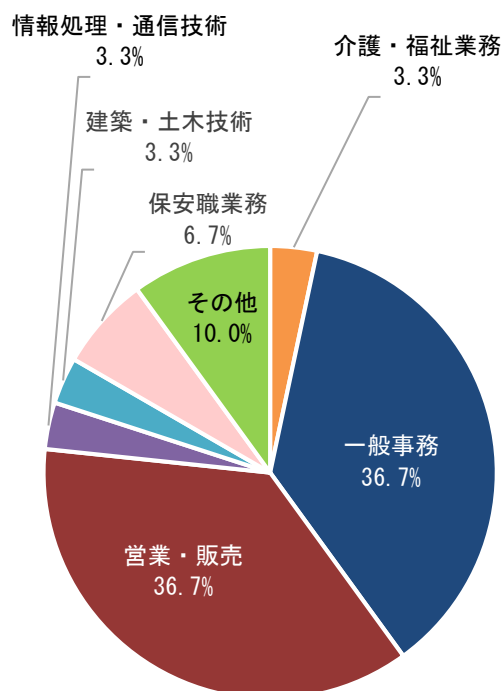
(2) (現在働いている人のみ) 現在の勤務先の業種をお答えください。

業種	人数	割合
農林水産業	1人	3.3%
建設業	3人	10.0%
製造業 (食品, 印刷, 化学, 鉄鋼, 電子部品等)	3人	10.0%
電気・ガス・水道業	0人	
情報通信業	1人	3.3%
運輸・郵便業	0人	
卸売・小売業	2人	6.7%
金融・保険業	6人	20.0%
不動産業	2人	6.7%
サービス業	2人	6.7%
教育・学習支援業 (小学校, 特別支援学校, 幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 学習塾等)	0人	
保健衛生・医療・福祉関係 (保育所, 福祉施設等)	1人	3.3%
公務 (国・地方自治体)	9人	30.0%
その他	0人	
合計	30人	100%



(3) (現在働いている人のみ) 現在のあなたの職種をお答えください。

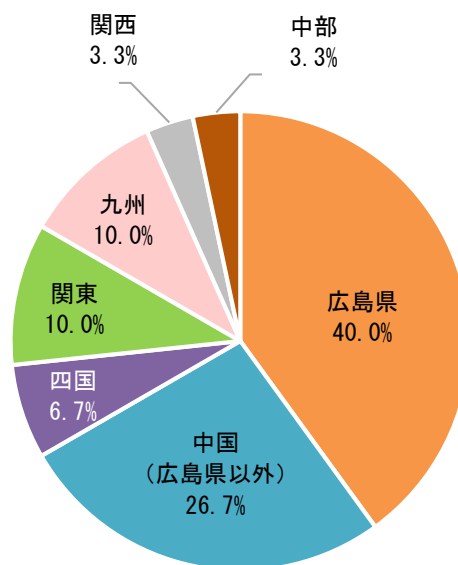
職種	人数	割合
小学校教諭	0人	
特別支援学校教諭	0人	
幼稚園教諭	0人	
認定こども園保育教諭	0人	
保育士	0人	
介護・福祉業務	1人	3.3%
一般事務 (一般行政事務等含む)	11人	36.7%
営業・販売	11人	36.7%
情報処理・通信技術	1人	3.3%
建築・土木技術	1人	3.3%
保安職業 (警察官, 消防士, 警備員等)	2人	6.7%
その他※	3人	10.0%
合計	30人	100%



※その他の回答 CADオペレーター…1人
マンション管理業…1人
野菜の栽培…1人

(4) (現在働いている人のみ) 勤務地についてお答えください。

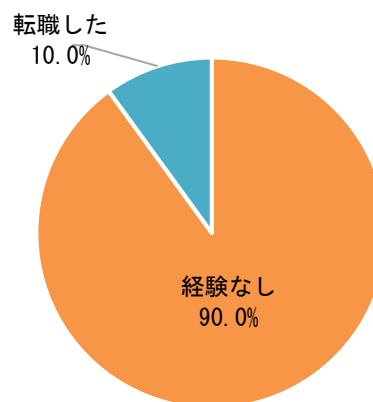
勤務地	人数	割合
広島県 (福山市 7, 福山市以外 5)	12人	40.0%
中国(広島県以外) (岡山 7, 島根 1)	8人	26.7%
四国(香川 1, 愛媛 1)	2人	6.7%
関東(東京 1, 神奈川 2)	3人	10.0%
九州 (福岡 1, 長崎 1, 鹿児島 1)	3人	10.0%
関西(奈良 1)	1人	3.3%
中部(福井 1)	1人	3.3%
合計	30人	100%



問3 転職や退職についてお尋ねします。

(1) 転職等の経験についてお答えください。

転職等の経験	人数	割合
経験なし	27人	90.0%
転職した	3人	10.0%
退職し現在は働いていない	0人	
合計	30人	100%



(2) (転職したことがある人のみ) 転職した時期をお答えください。

2019年6月…1人

2020年2月…1人

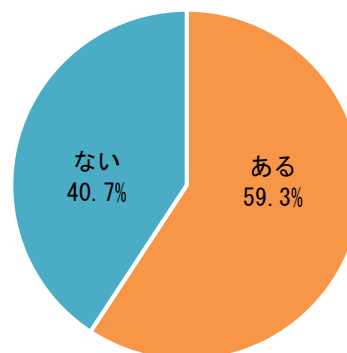
2021年3月, 6月…1人

(3) (退職したことがある人のみ) 退職した時期をお答えください。

該当なし

(4) (経験ない人のみ) これまでに、転職や退職を考えたことがありますか。

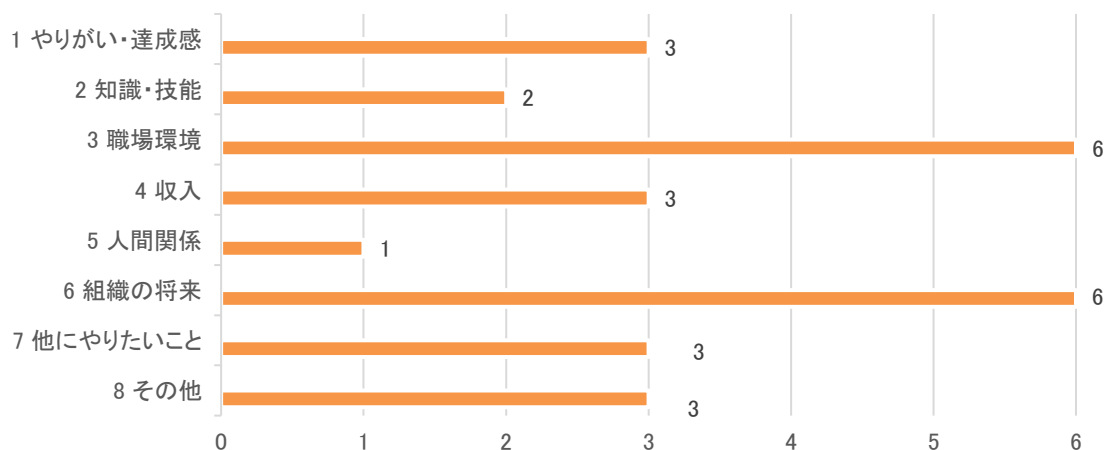
転職等の検討	人数	割合
ある	16人	59.3%
ない	11人	40.7%
合計	27人	100%



(5) ((4)で「ある」を選んだ人) 転職や退職を考えたのはどのような理由からですか。
(複数回答可)

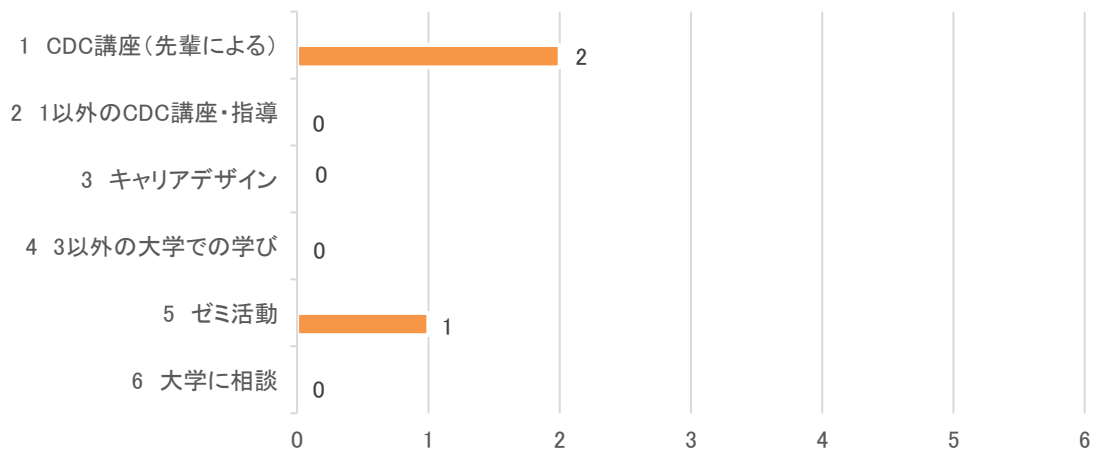
理由	人数
1 やりがいや達成感を得られなかったから	3人
2 自分が求める知識や技能が身につけられないと感じたから	2人
3 労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから	6人
4 収入に不満があったから	3人
5 職場の人間関係に悩みがあったから	1人
6 組織の将来に不安を感じたから	6人
7 他にやりたいことを見つけたから	3人
8 その他※	3人

※その他の回答 仕事が辛かったため…1人
仕事内容に不安があったから…1人
独立したいと思ったから…1人



(6) ((4)で「ある」を選んだ人) 転職・退職しないことを決断したとき、大学での学びや経験等が参考となった方は教えてください。(複数回答可)

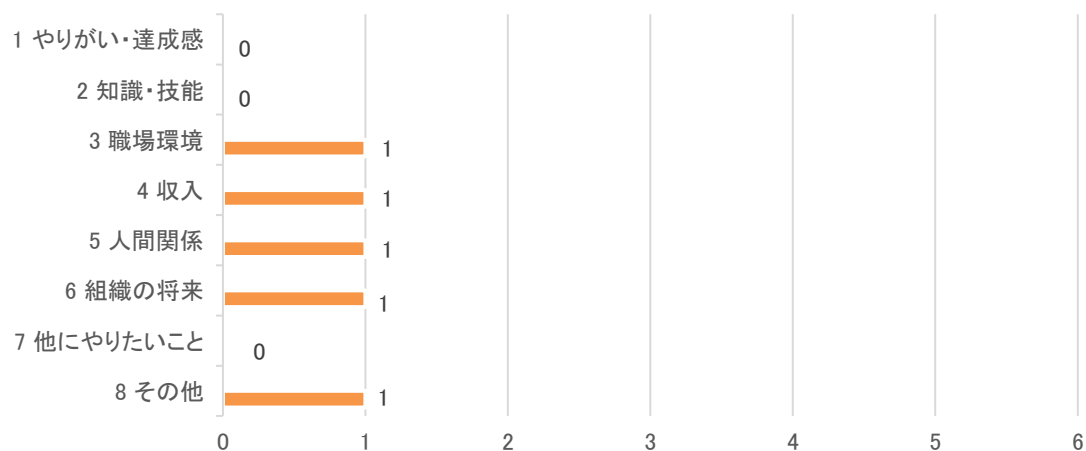
参考となったもの	人数
1 CDCでの先輩方による講座(就職報告会やキャリアセミナー等)	2人
2 1以外のCDCでの講座や指導	0人
3 教養科目「キャリアデザイン」	0人
4 3以外の大学の講義での学び	0人
5 ゼミ活動	1人
6 大学(CDCやゼミ教員)に相談して決めた	0人
7 その他	0人



(7) (転職・退職したことがある人のみ) 転職や退職を考えたのはどのような理由からですか。(複数回答可)

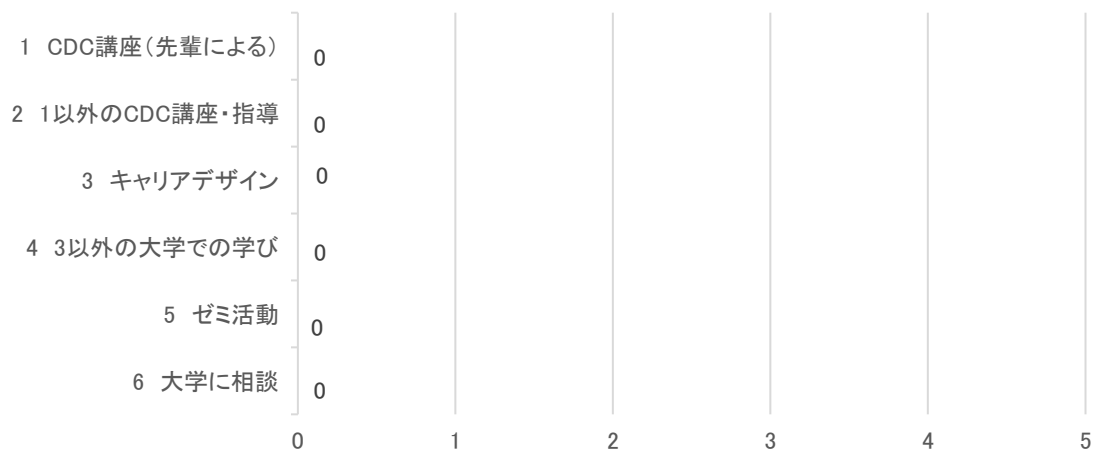
理由	人数
1 やりがいや達成感を得られなかったから	0人
2 自分が求める知識や技能が身につけられないと感じたから	0人
3 労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから	1人
4 収入に不満があったから	1人
5 職場の人間関係に悩みがあったから	1人
6 組織の将来に不安を感じたから	1人
7 他にやりたいことを見つけたから	0人
8 その他※	1人

※その他の回答 結婚のため…1人



(8) (転職・退職したことがある人のみ) 転職・退職を決断したとき、大学での学びや経験等が参考となった方は教えてください。(複数回答可)

参考となったもの	人数
1 CDC での先輩方による講座(就職報告会やキャリアセミナー等)	0人
2 1以外のCDCでの講座や指導	0人
3 教養科目「キャリアデザイン」	0人
4 3以外の大学の講義での学び	0人
5 ゼミ活動	0人
6 大学(CDC やゼミ教員)に相談して決めた	0人
7 その他	0人



問4 卒業後の状況から判断して、在学中に身につけるべき資質・能力（学習内容・成果）についてお尋ねします。

※この設問は、社会人として必要な資質・能力について、あなたが在学中に身につけたかどうかを問うものではなく、現時点で大学時代を振り返り、在学中に身につけておくべきであったかどうかの重要度を問うものです。

	1 とても重要	2 重要	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 まったく重要でない
(1)職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢	6人 (20.0%)	16人 (53.3%)	3人 (10.0%)	3人 (10.0%)	2人 (6.7%)
(2)職務をまっとうする責任感や使命感	13人 (43.3%)	10人 (33.3%)	4人 (13.3%)	2人 (6.7%)	1人 (3.3%)
(3)表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力	18人 (60.0%)	9人 (30.0%)	1人 (3.3%)	2人 (6.7%)	0人
(4)チームワークで業務に取り組む能力や協調性	8人 (26.7%)	16人 (53.3%)	4人 (13.3%)	1人 (3.3%)	1人 (3.3%)
(5)幅広い教養と高い知性	5人 (16.7%)	21人 (70.0%)	3人 (10.0%)	1人 (3.3%)	0人
(6)文書作成、データ分析、ネット活用等の幅広いIT能力	11人 (36.7%)	14人 (46.7%)	3人 (10.0%)	2人 (6.7%)	0人
(7)読み、書き、話す等の外国語の運用能力	4人 (13.3%)	12人 (40.0%)	8人 (26.7%)	5人 (16.7%)	1人 (3.3%)
(8)業務等に関連する専門分野の知識・技能	3人 (10.0%)	12人 (40.0%)	7人 (23.3%)	5人 (16.7%)	3人 (10.0%)
(9)自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探究力	6人 (20.0%)	19人 (63.3%)	3人 (10.0%)	1人 (3.3%)	1人 (3.3%)
(10)現在の生活地域への関心・興味や愛着心	4人 (13.3%)	8人 (26.7%)	8人 (26.7%)	8人 (26.7%)	2人 (6.7%)

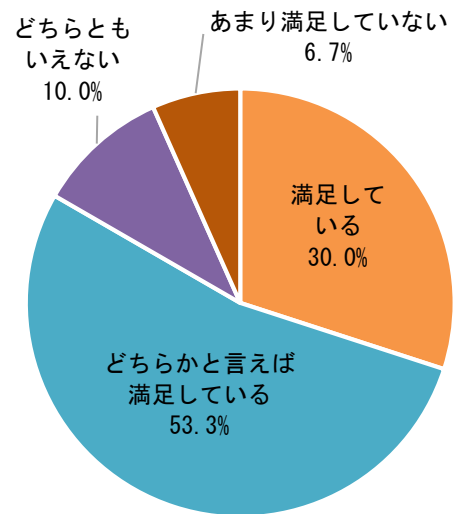
問5 上記の問4 (8)「業務等に関連する専門分野の知識・技能」において、あなたが重要だと感じるもののうち、在学中に身につけておくべきこと、あるいは在学中に習得に励むと良いと考えるものを3つ以内で具体的に挙げてください。

※ () に関する知識・技能 () の部分をお答えください。

PC(Excel・Word・PowerPoint 等)	9人
プログラミング	2人
IT	1人
情報発信に関するデザインや手法など	1人
語学	3人
建築	3人
法律	3人
国際取引実務	1人
簿記	1人
お金・経理関係	1人
各業界	1人
経済	1人
地域経済	1人
社会問題	2人
社会保障制度	1人
自然環境	1人
地理	1人
勤務先の地理的特性	1人
福山の特色	1人
コミュニケーション	1人
ビジネスマナー	1人
メンタルヘルス	1人
自分自身の心身	1人

問6 大学生活を振り返ってみて、大学に対する総合的な満足度は次のいずれですか？

満足度	人数	割合
満足している	9人	30.0%
どちらかと言えば満足している	16人	53.3%
どちらともいえない	3人	10.0%
あまり満足していない	2人	6.7%
満足していない	0人	
合計	30人	100%



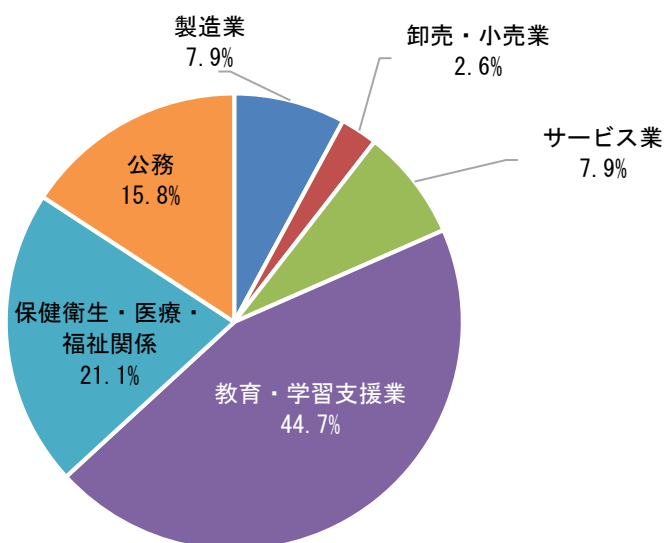
問7 卒業生の視点から福山市立大学の教育活動や人材育成等について意見・指摘等ありましたら、ぜひお聞かせください。

- ・ どんどん外に出て行くべき。
- ・ やりたいことをする。
- ・ 自分で考え、行動するといった学生の積極的な姿勢が、最終的に自分にとってより良い結果につながると思います。
- ・ コミュニケーション能力が高い人が仕事で活躍していると思うので、他の人と会話をする授業をもっと取り入れたら良いと思う。
- ・ 実際に働いている方にお話を伺う、本音を聞けるような機会をもっとあればよい。
- ・ 教職員以外の年齢の離れた大人ともっと触れ合う機会を増やすべきだと思う。高校上がりで直接大学生になった人は、個人差はあれどやはり意識が低かったように思う。意識を高める為には、色々な大人に出会って話を聞いたり共に行動する事が1番だと考える。そのような機会を設けてあげることで、より学生の学習意欲を高められるのではないだろうか。
- ・ 在校生が卒業生とコンタクトを取りやすい環境が整ったらいいと思います。zoomなどで繋がりやすい社会になってきたと思うので、在校生・卒業生双方からのよい活動があればいいと思います。
- ・ 都市経営学部では網羅的に学ぶことができるが、もう少し早い段階で専門的なコースで選択できるようにしたほうが良い
- ・ もっとレベルを上げた授業をした方がいいと思います。

II 就職先に対する調査（教育学部）

問1 貴組織についてお尋ねします。貴組織の業種をお答えください。

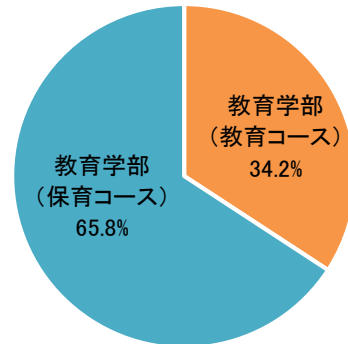
業種	人数	割合
農林水産業	0人	
建設業	0人	
製造業 (食品, 印刷, 化学, 鉄鋼, 電子部品等)	3人	7.9%
電気・ガス・水道業	0人	
情報通信業	0人	
運輸・郵便業	0人	
卸売・小売業	1人	2.6%
金融・保険業	0人	
不動産業	0人	
サービス業	3人	7.9%
教育・学習支援業 (小学校, 特別支援学校, 幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 学習塾等)	17人	44.7%
保健衛生・医療・福祉関係 (保育所, 福祉施設等)	8人	21.1%
公務 (国・地方自治体)	6人	15.8%
その他	0人	
合計	38人	100%



問2 2018年4月に採用いただいた本学卒業生についてお尋ねします。(一部採用時期が異なるケースあり)

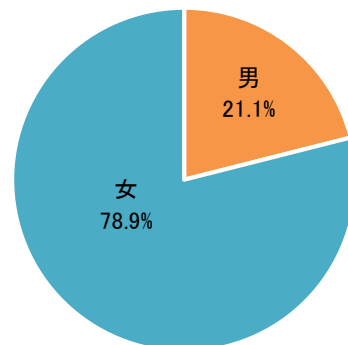
(1) 出身学部・コースは次のいずれでしょうか。

学部	人数	割合
教育学部 (教育コース)	13人	34.2%
教育学部 (保育コース)	25人	65.8%
合計	38人	100%



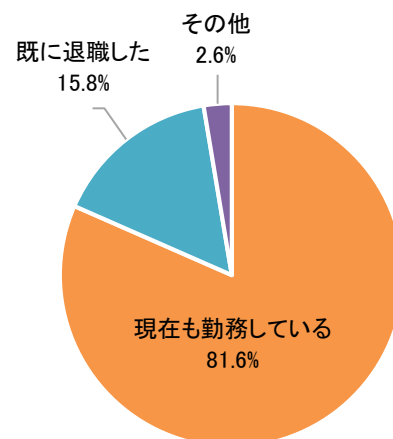
(2) 性別をお答えください。(任意)

性別	人数	割合
男	8人	21.1%
女	30人	78.9%
合計	38人	100%



(3) 在籍状況についてご教示ください。

在籍状況	人数	割合
現在も勤務している	31人	81.6%
既に退職した	6人	15.8%
その他	1人	2.6%
合計	38人	100%



問3 採用後（3年半経過時点）の職務従事の様子から判断して、本学在学中に身につけるべき資質・能力についてお尋ねします。

※この設問は、社会人として必要な資質・能力について、本学在学中に身につけておくべきであったかどうかの重要度を問うものです。

	1 とても重要	2 重要	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 まったく重要でない
(1)職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢	26人 (68.4%)	11人 (28.9%)	0人	1人 (2.6%)	0人
(2)職務をまっとうする責任感や使命感	22人 (57.9%)	16人 (42.1%)	0人	0人	0人
(3)表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力	26人 (68.4%)	11人 (28.9%)	0人	1人 (2.6%)	0人
(4)チームワークで業務に取り組む能力や協調性	21人 (55.3%)	16人 (42.1%)	0人	1人 (2.6%)	0人
(5)幅広い教養と高い知性	4人 (10.5%)	24人 (63.2%)	6人 (15.8%)	4人 (10.5%)	0人
(6)文書作成、データ分析、ネット活用等の幅広いIT能力	4人 (10.5%)	20人 (52.6%)	11人 (28.9%)	3人 (7.9%)	0人
(7)読み、書き、話す等の外国語の運用能力	1人 (2.6%)	9人 (23.7%)	15人 (39.5%)	13人 (34.2%)	0人
(8)業務等に関連する専門分野の知識・技能	13人 (34.2%)	16人 (42.1%)	6人 (15.8%)	2人 (5.3%)	1人 (2.6%)
(9)自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探究力	13人 (34.2%)	23人 (60.5%)	2人 (5.3%)	0人	0人
(10)現在の生活地域への関心・興味や愛着心	4人 (10.5%)	17人 (44.7%)	13人 (34.2%)	4人 (10.5%)	0人

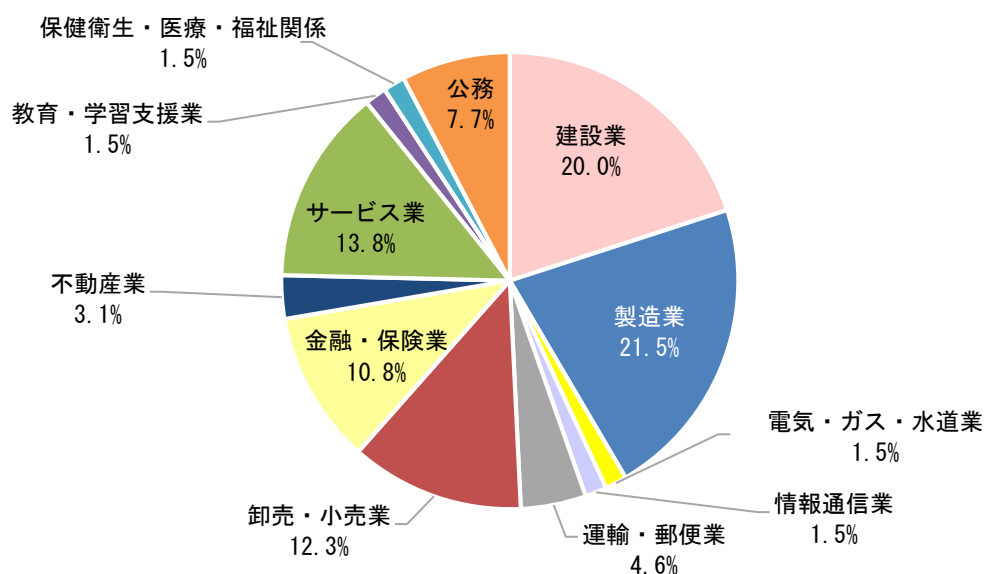
問4 貴組織の視点から福山市立大学の教育活動や人材育成等について意見・指摘等ありましたら、ぜひお聞かせください。

- ・とても、質の高い学生さんが多いように感じます。福山市立大学の先生方の教育に対する並々ならない努力が感じられます。
- ・初めての男子の保育士採用でした。心配なことも多々ありましたが、今まで特に問題なく勤務してもらっています。
- ・前回、採用した方は自ら学ぶ姿勢が、大変好印象だった。是非、そう云った人材をまたご紹介いただきたい。
- ・これからも、専門職に誇りをもって取り組む事のできる学生を育ててください。
- ・協調性があり、コミュニケーション能力が高い人を育ててほしい。
- ・教職に関する基礎的な知識・技能は必要だが、それ以上に規範意識や協調性、コミュニケーション力が重要である。また、地方の町村の学校は、地域のコミュニティの核となっていることが多く、地域の良さを発見し、発信しようとする力も求められている。
- ・保育に関する専門的な知識はもちろんですが、人を大切に思い、関わる仕事であることから、素直で温かみのある人であって欲しいと願います。
- ・社会人としての最低限のルール(提出期限を守る、約束を守る、ほうれんそうの徹底など)をしっかりと身につけて仕事について欲しい。
- ・社会人になると、組織内外で様々な人とのコミュニケーションが必要になってきます。老若男女との関係、取引先を含めた利害関係のなかで仕事を通じて成長して欲しいです。うまくいくこと、いかないことも多々あるので根気強く、目標を達成できるような人材が必要です。
- ・初等教育の場合、一番必要な素養は人柄です。人権意識、協調性、社会性、寛容さ等が備わった人材を求めています。専門性、つまり教授法や教科内容に関する知識は職場でつけさせます。
- ・人権を尊重する姿勢
- ・貴大学からの初めての採用者なので、はっきりとはわかりません。
- ・大学での学部とは全く違う職種のため何も意見はございません。

Ⅱ 就職先に対する調査（都市経営学部）

問1 貴組織についてお尋ねします。貴組織の業種をお答えください。

業種	人数	割合
農林水産業	0人	
建設業	13人	20.0%
製造業 (食品, 印刷, 化学, 鉄鋼, 電子部品等)	14人	21.5%
電気・ガス・水道業	1人	1.5%
情報通信業	1人	1.5%
運輸・郵便業	3人	4.6%
卸売・小売業	8人	12.3%
金融・保険業	7人	10.8%
不動産業	2人	3.1%
サービス業	9人	13.8%
教育・学習支援業 (小学校, 特別支援学校, 幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 学習塾等)	1人	1.5%
保健衛生・医療・福祉関係 (保育所, 福祉施設等)	1人	1.5%
公務 (国・地方自治体)	5人	7.7%
その他	0人	
合計	65人	100%



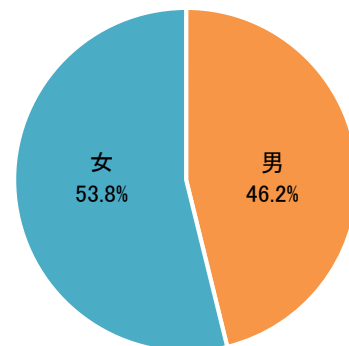
問2 2018年4月に採用いただいた本学卒業生についてお尋ねします。(一部採用時期が異なるケースあり)

(1) 出身学部・コースは次のいずれでしょうか。

学部	人数	割合
都市経営学部	65人	100%

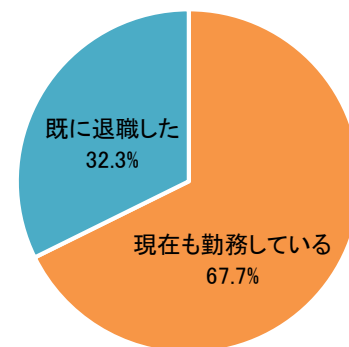
(2) 性別をお答えください。(任意)

性別	人数	割合
男	30人	46.2%
女	35人	53.8%
合計	65人	100%



(3) 在籍状況についてご教示ください。

在籍状況	人数	割合
現在も勤務している	44人	67.7%
既に退職した	21人	32.3%
その他	0人	
合計	65人	100%



問3 採用後（3年半経過時点）の職務従事の様子から判断して、本学在学中に身につけるべき資質・能力についてお尋ねします。

※この設問は、社会人として必要な資質・能力について、本学在学中に身につけておくべきであったかどうかの重要度を問うものです。

	1 とても重要	2 重要	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 まったく重要でない
(1)職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢	39人 (60.0%)	24人 (36.9%)	0人	2人 (3.1%)	0人
(2)職務をまっとうする責任感や使命感	42人 (64.6%)	22人 (33.8%)	0人	1人 (1.5%)	0人
(3)表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力	38人 (58.5%)	26人 (40.0%)	1人 (1.5%)	0人	0人
(4)チームワークで業務に取り組む能力や協調性	33人 (50.8%)	28人 (43.1%)	4人 (6.2%)	0人	0人
(5)幅広い教養と高い知性	7人 (10.8%)	33人 (50.8%)	18人 (27.7%)	7人 (10.8%)	0人
(6)文書作成、データ分析、ネット活用等の幅広いIT能力	13人 (20.0%)	28人 (43.1%)	20人 (30.8%)	4人 (6.2%)	0人
(7)読み、書き、話す等の外国語の運用能力	2人 (3.1%)	13人 (20.0%)	25人 (38.5%)	21人 (32.3%)	4人 (6.2%)
(8)業務等に関連する専門分野の知識・技能	8人 (12.3%)	18人 (27.7%)	19人 (29.2%)	20人 (30.8%)	0人
(9)自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探究力	25人 (38.5%)	34人 (52.3%)	6人 (9.2%)	0人	0人
(10)現在の生活地域への関心・興味や愛着心	13人 (20.0%)	28人 (43.1%)	16人 (24.6%)	8人 (12.3%)	0人

問4 貴組織の視点から福山市立大学の教育活動や人材育成等について意見・指摘等ありましたら、ぜひお聞かせください。

- ・素晴らしい人材が弊社に入社頂き、既に第一線で活躍頂いております。御校の教育・人材育成は即戦力となる優れた方が多いと確信しております。
- ・インターンシップや座談会ではとても優秀な学生が多い印象を受けており、毎年楽しみにしております。
- ・(採用した卒業生は)人間性がとても良い人材です。どんな仕事でも人間関係を築く為のコミュニケーション能力は大切だと思います。彼はそれが長けていたのでこの3年で非常に能力がアップしました。これからも彼の様な人材をお願いします。
- ・真面目で向上心があり、弊社にて活躍をして頂いています。
- ・配属部署でおおいに活躍してくれています。
- ・ぜひ今後も引き続き、向上心や積極性のある学生さんの育成をよろしくお願い致します。
- ・対象の方についてはよく頑張って仕事をしていただいています。
- ・明るく、コミュニケーションが取れ、積極的に課題に取り組める様な人材
- ・チーム内での対話力やコミュニケーション能力がもっとも重要。相手の言っている事をきちんと理解し上司や他部署の担当者に伝える力。不具合発生時に、問題解決までのストーリー展開を考えられる力。予備的な専門知識は不要。仕事の中で覚えられる。
- ・人の話を鵜呑みにせず、自らの意見や解決法を見出せる人間力を鍛えてあげてください。
- ・職場の人達と話題を共有したり、貪欲な旺盛力を養ってほしい。まわりの目を気にせず、物事に集中する力を身に着け、リーダーシップを発揮出来る人間を育成してほしい。
- ・人の気持ち、患者さんの気持ちが分かる人材を育成して頂ければ嬉しいです。
- ・主体的に行動する力を育成していただくことを期待します。
- ・知識等は、採用後に何とでもなりますが、やる気(熱意)の部分については、どうにもなりません。是非、ここの部分について教育をして頂けると、社会人としてのみならず、本人自身のためになるかと考えます。
- ・新入社員教育の必要がないぐらい社会人としての基本が身につけて欲しい。
- ・一般的学生の傾向として「就職」と「働く」ことを混同して、抹消的な問題解決を図ろうとばかりしている傾向が強いが、もっと本質的で長期的に物事を捉えるようになってほしい。それとも関連するが、国語力の低下が著しくこちらの声が婉曲して伝わっていることが多く、真意が伝わらない。その結果、どこかで聞き齧った価値観が都合よく利用され、利己的な価値観ばかりが強まっているような感覚を覚える。もっと社会とは相互扶助により成り立っており、社会を主体的に支えるからその構成員である個人が尊重されるということを教えてほしい。スキルやテクニックは二の次。
- ・公務員と民間企業とでは考え方が異なります。自分の目標をしっかり持って臨機応変に対応できる能力を磨いてください。

- ・公務員としての役割は、法律に基づいた制度の運用及び国民に対する行政サービスを提供することであるため、専門的知識の習得だけでなく、社会人としての対人的コミュニケーション能力の育成や企画・発案能力が求められる。組織内では人事異動により、知識のない部署への異動もあることから、未知の業務に対応できる適応力・学習意欲のある学生、組織としての行動ができるコミュニケーション力のある人材を育成していただきたい。
- ・人材育成について、地元愛を感じる方はすごく多い印象ですが、一方で視野の狭さを感じることもあります。自分が知っている範疇を越えようとしない、チャレンジ精神が旺盛でないなど、自らがリーダーシップを持って実践できるような方がもっと出てくれば理想だと感じております。ここ数年、毎年貴校出身の方を採用しておりますが、有能な方が多い中、もっとこうだったらいいなという点で上記のことを記載させていただきました。
- ・多くの市立大の学生さんの個々の学力は、都市部の学生と比較しても劣りませんが、インターンや説明会に参加した企業数が圧倒的に少なく感じます。そのため、面接時に自己表現する差をどうしても感じてしまいます。慣れていく部分もありますが、春先に面接・面談させていただくと、この部分は例年感じます。
- ・残念ながら、仕事の楽しさが分からないままで離職されましたが、業務においては理解力の高さと熱心な対応で先を楽しみにしておりましたが、まわりとのコミュニケーションに少し不自然な部分があり、周りとの距離が縮まらない様子が見受けられました。

Ⅲ 考察

福山市立大学における学生の学習成果に関するアンケートを、卒業生（246人）と就職先（237機関）を対象におこなった。

就職先の諸機関（以下、「就職先」という。）からは、「質の高い学生さんたちが多く。福山市立大学の先生方の教育に対する並々ならない努力が感じられる」や、「真面目で向上心があり、弊社にて活躍をしていただいている」といった声をいただいた。また、卒業生の大学に対する総合的満足度が教育学部、都市経営学部それぞれ 85.7%、83.3%と比較的高いこともうかがえた。

一方で、就職先での働き方やかわり方の様子、転職や離職での状況について、課題とともに得られた知見がある。また、大学にとってさらなる改善を求める点が含まれていることも分かった。以下、6つの点に絞って考察を述べる。

<アンケート回答の状況について>

アンケートに回答された方において、就職先と卒業生の回答に、一部非対称性が見られる。

都市経営学部の卒業生に関しては、就職先示した所属業種（製造業 21.5%、建設業 20.0%、サービス業 13.8%、卸売・小売業 12.3%、公務 7.7%）に対して、回答した卒業生においては、公務、金融・保険業に属すると答えた回答が過半数を占めている（公務 30.0%、金融・保険業 20.0%、建設業 10.0%、製造業 10.0%）。製造業、建設業に従事する卒業生が、回答に比較的后向きな状況がうかがえる。

教育学部の卒業生においては、「教育・学習支援業」と「保健衛生・医療・福祉関係」が主要な所属業種であり、これらにおいては、就職先と卒業生の回答とに、さほどの非対称性は見られない。他方で、一企業に就職した者においては、サービス業、製造業に従事する者からの回答が、就職先の回答に比して少なくなっており（それぞれ 7.9%、7.9%→2.9%、2.9%）、都市経営学部の卒業生でみられたことと類似の状況がうかがわれる。

<離職（転職や退職）について>

就職先においては、卒業生につき離職者の数（「すでに退職した」）が一定の数・割合が示されている（教育学部 15.8%；都市経営学部 32.3%）。この状況が実際の状況を反映しているのとらえられる。この就職先が示した離職者の数・割合に対して、卒業生においては離職の経験（「転職や退職」）を述べた者の数が少ないという非対称性が見られた（教育学部 8.6%；都市経営学部 10.0%）。このことは、退職などをした者においてアンケートへの回答を控えた者がいたことがうかがわれる。

このことから、教育学部の卒業生において、約 15%の離職者、都市経営学部の卒業生において約 30%の離職者があったことがうかがえる。

<離職（転職や退職）を考えたことがあるか？について>

実際に離職した場合のみならず、離職（転職や退職）を考えたことがあるか、という問いに対して、教育学部の卒業生の回答者の場合 40.0%、都市経営学部の卒業生の場合 63.3%が離職を「考えたことがある」と答えた。（そのうち、教育学部の場合 8.6%が、都市経営学部の場合 10%が実際に離職した。）

なお、離職経験のない人に絞っても、教育学部の卒業生の場合 34.4%、都市経営学部卒業生の場合 59.3%が離職を「考えたことがある」と答えている。

このような状況より、在学中における離職に関するキャリア教育の必要性がうかがわれる。

<なぜ離職したのか？について>

離職（転職や退職）を考えたことがある人に対して「転職や退職を考えたのはどのような理由からですか」の設問に関しては、両学部の卒業生に共通して、「労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから」、また「組織の将来に不安を感じたから」の二つで回答数が多い。前者は職場環境に関する不満であり、後者（組織の将来についての不安）はネガティブ離職にかかわるものである。（なお、教育学部の卒業生にあっては、「職場の人間関係に悩みがあったから」も多い。）

特にネガティブ離職に関わっては、就職時のマッチングでの課題があるとともに、さらにまた就職先での、手続きや人の取扱いにかかわる「手続き的公正」・「人的公正」のありようや、また面談実施の有無などが課題になっている面があると推測される。

なお、転職、離職をしないことを決断したときに参考になった大学での学びや経験等としては、「ゼミ活動」や CDC（キャリアデザインセンター）での講座や指導で両学部に共通して回答があった。しかしながら回答状況を踏まえると、卒業生が離職を踏みとどまる際に大学での学びや経験等はあまり参考になっていないことが実情である。上述した通り、在学中における離職に関するキャリア教育の必要性がうかがわれる。

<在学中に身につけるべき資質・能力・学習内容について>

教育学部卒業生をめぐって

教育学部の卒業生をめぐって、「卒業後の状況から判断して、在学中に身につけるべき資質・能力（学習内容、成果）についてお尋ねします」の設問に対して、基本的に卒業生からの回答と就職先からの回答は共通的な傾向にある。「とても重要」「重要」を合わせて 70%を超えているのが、「職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢」、「職務をまっとうする責任感や使命感」、「表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力」、「チームワークで業務に取り組む能力や協調性」、「幅広い教養と高い知性」、「業務等に関連する専門分野の知識・技能」「自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探求力」の7項目で、卒業生と就職先の回答は共通している。なお、卒業生にあって「文書作成、データ分析、ネッ

ト活用等の幅広い IT 能力」を重視する回答が 77.1%と高いのに対して、それを重視する就職先の回答は 63.1%と比較的低い。

都市経営学部卒業生をめぐって

都市経営学部において、同様に、合わせて 70%を超えているのが、「職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢」、「職務をまっとうする責任感や使命感」、「表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力」、「チームワークで業務に取り組む能力や協調性」、「自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探求力」の 5 項目で、卒業生と就職先の回答は共通している。

他方で、卒業生にあって「文書作成、データ分析、ネット活用等の幅広い IT 能力」を重視する回答が 83.4%と高いのに対して、それを重視する就職先の回答は 63.1%と比較的低い。他方、卒業生にあって重視されていない「現在の生活地域への関心・興味や愛着心」(40.0%)が、就職先にあっては 63.1%と比較的高くなっている。

ちなみに自由記述において、「もっと本質的で長期的に物事を捉えるようになってほしい(中略)・・・社会とは相互扶助により成り立っており、社会を主体的に支えるからその構成員である個人が尊重されるということを教えてほしい。スキルやテクニクは二の次。」という就職先からの意見は、地域社会において活動を展開されていることがうかがえる。

<就職先からの提起と期待>

自由記述では、就職先・社会の現場における働きに関わり、卒業生の資質の陶冶や学習についての提起と期待があった。今後、CDC を中心に大学が一丸となって、地域社会の期待に応える人材育成に取り組むべきことが示唆されている。(以下、回答のうち主たるものを要約)

- ・専門性は職場で身につけさせるので、「人柄」(人権意識、協調性、社会性、寛容さ等がそなわった人材)という素養を身につけておいてほしい。
- ・人の話をうのみにせず、みずからの意見や解決法を見出せる「人間力」を鍛えておいてほしい。
- ・協調性、対人コミュニケーション能力の高い人材を育ててほしい。(特に、組織内外での、取引先等を含めた様々な関係性、利害関係の中でのコミュニケーションが実際の場で求められ当人の認識と齟齬がある場合があることや、コミュニケーションが不自然で周りとの距離が縮まらず、離職したケースがあったことが指摘されている。)
- ・企画・発案能力が求められる。(未知の業務に対応できる適応力、学習意欲)
- ・視野の狭さを感じることもある。自分の知っている範囲を超えようとしない。チャレンジ精神、リーダーシップを発揮できる力が求められる。

参考資料「アンケートフォーマット」

福山市立大学における学生の学習成果に関するアンケート調査(卒業生)

「ご回答にあたってのお願い」

- ・アンケート回答の目安時間は約 6 分間です。
- ・いただいたご回答は統計的に処理するため、回答者個人が特定されることはありません。

問1 あなた自身についてお尋ねします。

(1) 出身学部・コースを選択してください。

- ・①教育学部(教育コース)
- ・②教育学部(保育コース)
- ・③都市経営学部

(2) あなたの性別をお答えください。(任意)

- ・①男
- ・②女

問2 現在の勤務先についてお尋ねします。

(1) 勤務先での雇用形態についてお答えください。

- ・①正規雇用
- ・②非正規雇用(派遣, パート, アルバイト等含む)
- ・③現在は働いていない

(2)((1)で①②を選んだ人のみ)現在の勤務先の業種をお答えください。

- ・①農林水産業
- ・②建設業
- ・③製造業(食品・印刷・化学・鉄鋼・電子部品等)
- ・④電気・ガス・水道業
- ・⑤情報通信業
- ・⑥運輸・郵便業
- ・⑦卸売・小売業
- ・⑧金融・保険業
- ・⑨不動産業
- ・⑩サービス業
- ・⑪教育, 学習支援業(小学校, 特別支援学校, 幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 学習塾等)

- ・⑫保健衛生・医療・福祉関係(保育所, 福祉施設等)
- ・⑬公務(国・地方自治体)
- ・その他()

(3)((1)で①②を選んだ人のみ)現在のあなたの職種をお答えください。

- ・①小学校教諭
- ・②特別支援学校教諭
- ・③幼稚園教諭
- ・④認定こども園保育教諭
- ・⑤保育士
- ・⑥介護・福祉業務
- ・⑦一般事務(一般行政事務等含む)
- ・⑧営業・販売
- ・⑨情報処理・通信技術
- ・⑩建築・土木技術
- ・⑪保安職業(警察官, 消防士, 警備員等)
- ・その他()

(4)((1)で①②を選んだ人のみ)勤務地についてお答えください。(例:広島県福山市)
()

問3 転職や退職についてお尋ねします。

(1) 転職等の経験についてお答えください。

- ・①経験なし
- ・②転職した
- ・③退職し現在は働いていない

(2)((1)で②を選んだ人のみ)転職した時期をお答えください。(例:2021年5月頃)
()

(3)((1)で③を選んだ人のみ)退職した時期をお答えください。(例:2021年5月頃)
()

(4)((1)で①を選んだ人)これまでに, 転職や退職を考えたことがありますか。

- ・①ある
- ・②ない

(5)((4)で①を選んだ人)転職や退職を考えたのはどのような理由からですか。(複数回答可)

- ・①やりがいや達成感を得られなかったから
- ・②自分が求める知識や技能が身につけられないと感じたから
- ・③労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから
- ・④収入に不満があったから
- ・⑤職場の人間関係に悩みがあったから
- ・⑥組織の将来に不安を感じたから
- ・⑦他にやりたいことを見つけたから
- ・その他()

(6)((4)で①を選んだ人)転職・退職しないことを決断したとき、大学での学びや経験等が参考となった方は教えてください。(複数回答可)

- ・①CDC での先輩方による講座(就職報告会やキャリアセミナー等)
- ・②①以外の CDC での講座や指導
- ・③教養科目「キャリアデザイン」
- ・④③以外の大学の講義での学び
- ・⑤ゼミ活動
- ・⑥大学(CDC やゼミ教員)に相談して決めた
- ・その他()

(7)((1)で②③を選んだ人)転職や退職を考えたのはどのような理由からですか。(複数回答可)

- ・①やりがいや達成感を得られなかったから
- ・②自分が求める知識や技能が身につけられないと感じたから
- ・③労働時間や休暇取得状況等の職場環境に不満があったから
- ・④収入に不満があったから
- ・⑤職場の人間関係に悩みがあったから
- ・⑥組織の将来に不安を感じたから
- ・⑦他にやりたいことを見つけたから
- ・その他()

(8)((1)で②③を選んだ人)転職や退職を決断したとき、大学での学びや経験等が参考となった方は教えてください。(複数回答可)

- ・①CDC での先輩方による講座(就職報告会やキャリアセミナー等)
- ・②①以外の CDC での講座や指導
- ・③教養科目「キャリアデザイン」
- ・④③以外の大学の講義での学び

- ・⑤ゼミ活動
- ・⑥大学(CDC やゼミ教員)に相談して決めた
- ・その他()

問4 卒業後の状況から判断して、在学中に身につけるべき資質・能力(学習内容・成果)についてお尋ねします。

この設問は、社会人として必要な資質・能力について、あなたが在学中に身につけたかどうかを問うものではなく、現時点で大学時代を振り返り、在学中に身につけておくべきであったかどうかの重要度を問うものです。

(1) 職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(2) 職務をまっとうする責任感や使命感

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(3) 表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(4) チームワークで業務に取り組む能力や協調性

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(5) 幅広い教養と高い知性

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(6) 文書作成, データ分析, ネット活用等の幅広い IT 活用能力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(7) 読み, 書き, 話す等の外国語の運用能力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(8) 業務等に関連する専門分野の知識・技能

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(9) 自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探究力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(10) 現在の生活地域への関心・興味や愛着心

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

問5 上記の間4(8)業務等に関連する専門分野の知識・技能において、あなたが重要だと感じるもののうち、在学中に身につけておくべきこと、あるいは在学中に習得に励むと良いと考えるものを3つ以内で具体的に挙げてください。

※()に関する知識・技能 ()の部分をお答えください。

- ・ ()
- ・ ()
- ・ ()

問6 大学生活を振り返ってみて、大学に対する総合的な満足度は次のいずれですか？

- ・①満足している
- ・②どちらかと言えば満足している
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり満足していない
- ・⑤満足していない

問7 卒業生の視点から福山市立大学の教育活動や人材育成等について意見・指摘等ありましたら、ぜひお聞かせください。

()

福山市立大学における学生の学習成果に関するアンケート調査(就職先)

「ご回答にあたってのお願い」

- ・アンケート回答の目安時間は約 5 分間です。
- ・2018 年 4 月に採用いただいた本学卒業生が複数名いる場合には、大変お手数ですが別個の回答フォームからご回答をお願いいたします。(一部採用時期が異なるケースあり)
- ・いただいたご回答は統計的に処理するため、回答者個人が特定されることはありません。忌憚のないご回答をお願いいたします。
- ・ご回答いただく際には個人が特定されないようご注意くださいようお願い申し上げます。

問1 貴組織についてお尋ねします。貴組織の業種をお答えください。

- ・①農林水産業
- ・②建設業
- ・③製造業(食品・印刷・化学・鉄鋼・電子部品等)
- ・④電気・ガス・水道業
- ・⑤情報通信業
- ・⑥運輸・郵便業
- ・⑦卸売・小売業
- ・⑧金融・保険業
- ・⑨不動産業
- ・⑩サービス業
- ・⑪教育, 学習支援業(小学校, 特別支援学校, 幼稚園, 幼保連携型認定こども園, 学習塾等)
- ・⑫保健衛生・医療・福祉関係(保育所, 福祉施設等)
- ・⑬公務(国・地方自治体)
- ・その他()

問2 2018 年 4 月に採用いただいた本学卒業生についてお尋ねします。

(一部採用時期が異なるケースあり)

(1) 出身学部・コースは次のいずれでしょうか。

- ・①教育学部(教育コース)
- ・②教育学部(保育コース)
- ・③都市経営学部

(2) 性別をお答えください。(任意)

- ・①男
- ・②女

(3) 在籍状況についてご教示ください。

- ・①現在も勤務している
- ・②既に退職した
- ・③その他()

問3 採用後(3年半経過時点)の職務従事の様子から判断して、本学在学中に身につけるべき資質・能力についてお尋ねします。

この設問は、社会人として必要な資質・能力について、本学在学中に身につけておくべきであったかどうかの重要度を問うものです。

(1) 職務に熱意をもって積極的に取り組む姿勢

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(2) 職務をまっとうする責任感や使命感

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(3) 表現力や対話力を含む職場におけるコミュニケーション能力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(4) チームワークで業務に取り組む能力や協調性

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(5) 幅広い教養と高い知性

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(6) 文書作成, データ分析, ネット活用等の幅広い IT 活用能力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(7) 読み, 書き, 話す等の外国語の運用能力

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(8) 業務等に関連する専門分野の知識・技能

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(9) 自ら課題を見つけ解決に導く企画力・実行力・探究力

- ・①とても重要である

- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

(10) 現在の生活地域への関心・興味や愛着心

- ・①とても重要である
- ・②重要である
- ・③どちらともいえない
- ・④あまり重要でない
- ・⑤まったく重要でない

問4 貴組織の視点から福山市立大学の教育活動や人材育成等について意見・指摘等ありましたら、ぜひお聞かせください。

()